

# かしこい子どもに共通する 7 か条

かしこい子には共通することがあります。日々の生活の中で、これを少しでも意識してみてください。

## 1. 筆箱がパンパンにふくらんでいない!

ふくらんでいる人は、無駄なペンがたくさん入っています!ここ何色使おう?とか、割とどうでも良いことにこだわりだす傾向にあります

## 2. 消しゴムの使い方が適切!

消し跡が残るのは、消しゴムの使い方がうまくない証拠です。うまく使えと、きれいに消せますし、消しゴムのカスが一本にまとまり、ごみも出にくいです。

## 3. 疑問に思う心がある

勉強しているときに「なぜこうなの?そうしてこうなの?」

料理では…「これ何でできているの?」

口に入れるものには特に気をかけるべき。まずは料理から気にさせてみましょう!

## 4. 人の話を聞くことができる

大事なのは聞くこと。「決断は自分」です。相手の言いなりになるという意味ではありません。情報を集め、自分で決断を下すのは、優秀な人に必要な素養です。

## 5. 睡眠時間が安定している

「受験生は寝る間を惜しんで、勉強している」これは幻想です。優秀な子ほど睡眠時間をとっています。

小学4・5年生なら中学受験生でも8時間～8時間半、

小学6年生でも7時間半～8時間は睡眠時間をとるべきです。脳の発育に影響します。

## 6. 栄養のバランスを考えた食事ができている

睡眠と栄養は脳を構成する重要な要素です。

## 7. 身近な決断を自分ですることができる

決断力はとても大切です。答えがある程度固まっているのに、優柔不断な性格が邪魔をして答えが書けない!ということはよくあることです。

身近なところで、保護者が決断するのではなく、子どもに決断させる練習をさせましょう。重要な決断は保護者がするべき、あくまで将来に向けての練習です。

「今日はその服を着ていく?」